資料５

新・沖縄２１世紀ビジョン基本計画改定（案）の主な特徴

新5K経済の促進

観光
- 観光人材の育成・確保や観光産業の生産性向上・DX推進への支援に加え、観光需要の平準化や観光地の混雑緩和・分散化に取り組む。

健康
- 健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組む。 **⇒地域未来戦略関連**

環境
- 本県の地域特性に合ったクリーンエネルギーの導入拡大や地産地消によるエネルギー自給率の向上に取り組むほか、GXの推進に関する普及啓発など、脱炭素と産業振興の両立に向けた取組を推進する。

海洋
- 海洋に関する調査研究体制の充実、海洋環境・資源の利活用、離島地域の活性化など、ブルーエコノミーを先導する地域として海洋政策を総合的に推進する。

起業
- 国内外からの投資を呼び込み、資金調達を促進する環境づくりを進めるとともに、スタートアップの海外展開や外国人起業家等の県内進出に係る支援に取り組む。

GW2050 PROJECTSの推進

- **経済界が進めるGW2050 PROJECTSの強力な推進**

⇒ 基地返還予定地と那覇空港の一体的な開発を進める「GW2050 PROJECTS」については、本県の発展可能性を存分に引き出し、効果的な取組となるよう、県、市町村、経済団体等が密に連携し、それぞれの役割のもと、着実に取組を進める。

＜具体的な施策として新たに計画に盛り込んだもの（例）＞
- 基幹バスルートにおけるBRT導入に向けて、輸送力の高い連節バスの走行実証やバス事業者による共同運航などBRT導入に向けた環境整備に取り組む。
- 今後改定を予定している中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想や関係する跡地利用計画等への反映に向けた検討を進める。
- 大学や企業等と連携し、MBA等の高度な学びを含む社会人の学びの機会の充実を図るなど、県内産業を牽引する高度人材の育成・確保を推進する。

沖縄移動革命と那覇空港等の機能拡張

- **鉄軌道を含む新たな公共交通システムの構築**

⇒ 那覇と名護を1時間で結ぶ南北の骨格軸として、定時性、速達性及び大量輸送の機能を備えた鉄軌道を含む新たな公共交通システムの構築に取り組む。

- **世界のゲートウェイとなりうる那覇空港等の機能拡張**

⇒ 利便性や快適性、おもてなしなど質の高い空港サービスと、利用拡大や多様なニーズにも対応する空港施設を併せ持つ世界最高水準を見据えた拠点空港の整備を促進する。

子育てにやさしい島づくり

- **子ども・子育て支援の充実**

⇒ 妊娠・出産に係る費用負担の軽減ほか、プレコンセプションケアの普及啓発やこどもを望む夫婦への不妊症・不育症に関する相談支援、治療費等の助成に取り組む。